

方法などないのです。自分を
知り、自分を育てていくことが「子
育て」ともいえるでしょう。

人は他人によって育てられるも
のです。親子、夫婦、師弟、友人
など真剣に相手と向き合うことが
大切であり、自分を積極的に他人
の中に導いていくことが自分育て
です。それが子育てに生きてい
る、そう考えて私自身をいろいろ
な場に引っぱり出している今日こ

の頃です。

慶一がいたからこそ、そして、
三人の娘がいるおかげで自分と向
き合い、自分の生き方を考える
チャンスを与えてもらうことがで
きました。これからも、いつでも、
どこでも、だれとでも、なにが
あっても前向きで楽しい生き方を
していきたいと思います。

(いわき市立錦中学校PTA副会長)

二百三十万光年の夢

渡邊 克行



「先生、もう見ましたか」
廊下を歩いていると、六年生のA
君が問いかけてきた。今話題の映
画、スターウォーズを見てきたか
というのだ。

A君は宇宙のことが大好きで、
SF小説や映画の大ファンである
私とは話がよく合う。話をするだ
けでなく、お互いに手持ちの写真
集や科学雑誌などを持ってきて

は、二人でため息をついている。

様々な星雲の形状・色彩の美し
さ、星の生死の不思議、そしては
るか百億光年のかなたの深宇宙。

「宇宙に行ってみたいね」と、
どちらともなく、宇宙旅行の話に
なるのが常だ。私が小さい頃は、
「なに考えてんだ。夢みたいなの
と言ってるんじゃない」などと、友
達によく笑われていた。

しかし、すでに宇宙旅行の募集
が始まっているように、新しいス
ペースシャトルの開発とともに、
ごく一般の人が宇宙空間に行ける
時代がすぐそこまできているのだ。
「アンドロメダ星雲に行ってみ
たい」二百三十万光年離れた、き
れいな渦巻き銀河を見て、A君が
言う。

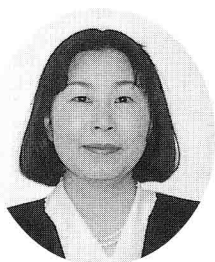
そこまで行く方法として、原子
力ロケット、星間ラムジェットロ
ケット、光子力ロケット、反物質
ロケット等が考えられていること
をA君に教えてあげた。また、ア
ンドロメダまでだと、光速で移動
する宇宙船の中では約三十年かか
るが、地球上では二百三十五年も
たってしまうことも伝えた。まさ
に浦島太郎になってしまふのだ。
アンドロメダまでの旅は、今でも
夢物語である。

美しい星の写真を見て、夢を語
り合う。A君との星についての会
話は、毎日の忙しさの中で、ちょっ
とした憩いのひとときとなつて
いる。

科学の進歩は、日進月歩であ
る。今は遠い夢物語であつても、
きつとA君のような宇宙への強い
あこがれを持つ子供たちが、少し

随想

関根 英理子



ずつ未来の宇宙旅行の扉を開いて
くれるに違いない。二百三十万光
年の宇宙の旅は、私にとつての夢
であるが、宇宙開発に少しでも興
味や関心を持つてくれるような子
供たちを育てることが、もうひと
つの大きな夢である。

(白沢村立糠沢小学校教諭)

先日勤続二十年ということ、
互助会から図書券をいただいた。

人生においても仕事においても
折り返し地点と言えるこの時期を
「不惑」と称するのは実に示唆に
富んでいると思う。振り返ってみ
ると私は、何気なく漏らすぐちの